

## 第三者評価結果の公表事項(乳児院)

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

### ②評価調査者研修修了番号

SK18205 2017-03 2006-05 2006-03

### ③施設の情報

名称：麦の穂乳幼児ホームかがやき	種別：乳児院
代表者氏名：横川 哲	定員（利用人数）： 15 名
所在地：岐阜県中津川市千旦林1468-52	
TEL：0573-78-0270	ホームページ：http://www.muginoho-gifu.com
<b>【施設の概要】</b>	
開設年月日 2001年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 カトリック名古屋教区 報恩会	
職員数	常勤職員： 31 名 非常勤職員 3 名
有資格 職員数	（資格の名称） 名
	保育士 24 名 臨床心理士 1 名
	看護師 5 名 社会福祉士 2 名
	栄養士 3 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
プレイルーム 寝室3室 小規模グループケア 2か所 子育て支援短期利用室 1室	
事務室 会議室 職員休憩室 観察室 浴室 ほふく室 母子養育指導室 洗濯室	

### ④理念・基本方針

**【理念】** 隣人愛 ～すべての人々を大切にする～

#### **【基本方針】**

麦の穂乳幼児ホームかがやきは、カトリック精神である隣人愛に基づき、子どもひとりひとりを愛し、大切に育てます。人間の人格形成は乳幼児期の関わり・育て方によって大きく左右されることを職員相互が真剣にとらえ、愛される喜び、温かく抱擁される心地よさを味わうことができるホームづくりに努めます。

麦の穂乳幼児ホームかがやきは、子ども達の未来が幸せいっぱいになり輝くように願

いを込めて「かがやき」と名づけました。隣接する児童養護施設麦の穂学園、子ども家庭支援センター麦の穂との協力体制を重視し、職員相互の交流、研修を大切に、同時に地域に開かれた子育て支援の場所として機能を生かした運営に努めます。

【職員の心得】

- か . . . 語り合おう
- が . . . 学習しよう
- や . . . 優しい心と柔らかな態度で
- き . . . キラキラした子ども達の目の輝きを大切に

⑤施設の特徴的な取組

1. 理念、基本方針に基づいて共通の理解を持ち、乳幼児の育ちを保障し権利侵害を防止するために、「乳児院倫理綱領」やより適切なかかわりのためのチェックリストを毎月グループ会議で読み合わせ、振り返りを持つ機会を持つとともに、「被措置児童虐待防止マニュアル」を職員に周知し、確認し合える体制を整え、不適切な関わり防止に努めている。
2. 子どもの自己肯定感を育む関わりを意識し、担当養育制による愛着形成を大切にした支援にあたっている。また、毎月1回、各担当別にグループ会議を開催し、子どもとの関わりや環境設定について全職員（全職種）が協議している。
3. 法人・園内学習会・外部研修会の開催や参加を通して、職員の質の向上を図り、日々の養育・実践に活かしている。また、グループ会議での読み合わせ学習を継続して実施し、職員が自分自身を振り返り、意見交換する機会としている。
4. 家庭支援・里親支援について、面会時や必要に応じて面談を実施し、話をうかがう機会を大切にしている。また、保護者へ定期的に子どもの写真と成長の様子を便りとして送付したり、誕生会や行事への参加を促している。
5. 継続的な育ちを見守るために、アルバム・エピソードの作成を通して、継続的な育ちを見守っている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 1 年 6 月 4 日（契約日） ～ 令和 2 年 1 月 6 日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成 28 年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

<基本方針に子どもを尊重するという基本姿勢を示している。>

子どもを尊重する基本姿勢について、基本方針に基づいて職員間で共通理解を持ち、毎月のグループ会議で乳児院倫理綱領、子どもを尊重した養育支援について読み合わせ、意見交換を

行うとともに、養育のあり方について振り返りを実施する等して、子どもの最善の利益を目指して子ども本位の養育・支援に努めている。また、養育マニュアルを整備し、子どものプライバシーが守られるよう配慮した養育・支援に取り組んでいる。

#### <職員は子どもと向き合う努力をしている。>

子どもたちの育ちを一番に考えることを目標とし、職員は子どもと真摯に向き合う努力をしている。経験の浅い職員は、先輩の助言や共感により成長し、反省点を改善し、次の課題に取り組んでいる。職員は、子どもの成長を願いつつ愛情深く養育・支援にあたっており、主体性を持って職務に取り組みたいと意識している。

#### <日々養育の質の向上を目指している。>

「愛着形成」と「豊かな生活の保障を」を掲げ、生活の中で「子どもの自己肯定感を育む」ことを柱に生活が整えられている。「子どもが生活主体」との視点に立ち、子ども一人ひとりの発達・生活リズムに合わせた活動ができるように玩具や絵本が準備されている。個人玩具も一人ひとり明記して分かりやすく整理され、子どもの気持ちを大切にして、子ども自身が選びやすい環境を整え、自ら片付けやすいよう工夫されており、大人がそのモデルとなるよう接している。

#### <豊かな自然と地域の人々との交流の中で生活している。>

施設の立地は自然に恵まれており、イナゴ、ザリガニ等、季節ごとに小さな生き物との触れ合いを大切にしたり、また、畑で採れた野菜を調理に取り入れ、季節感ある食物を味わっている。夏祭りやキャンプ等、法人の行事や地域行事に相互参加する等、地域に向けて積極的な働きかけを行い、地域と密な交流関係ができています。幼稚園の未就園児交流や「中津川子育てサロン」への職員参加等を通じて、地域交流や地域支援に努めている。

#### ◇改善を求められる点

##### <夜間における緊急体制について検討されたい。>

定期的に避難訓練、想定訓練を実施している。また地域の防災訓練と施設の総合防災・炊き出し訓練を実施する等して、地域との協力体制ができています。また、非常災害備蓄品の入れ替えも定期的に実施している。しかし、予測できない自然災害が短時間で起きる昨今、夜間帯での緊急対応について、少ない職員でどのように乳幼児を避難させるかが課題である。速やかな避難ができるよう、さらなる工夫に向けた取り組みに期待したい。

### ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

乳児院で生活を営む子どもたちが、日々安心して過ごせるような環境を整えていくこと、遊びを充実させるための環境設定など、子どもを生活の主体者として、養育の質の向上を目指す取り組みを評価していただけたことは、現場の職員のモチベーションをあげることに繋がると感じています。今後さらに、乳児院は社会的養護の担い手として、施設の持つ専門的機能を

地域へ提供していくことが求められています。評価基準項目をひとつひとつ確認しながら、私たちにできる支援の取り組みを実践していきたいと考えています。

「改善が求められる点」として、夜間における緊急体制の整備の充実について指摘がありました。夜間帯などの職員の招集体制について具体的な検討をしていくとともに、防災体制についての連携、BCPの整備などに取り組んでいきたいと考えています。

#### ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。